令和５年度（２０２３年度）八代高等学校シラバス

教　科	地理歴史	科　目	地理総合
学年・類型	２年	単位数	２
教科書	地理総合（東京書籍）		
副教材	地理総合ワークノート（東京書籍）		
科目目標	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。		
学習方法	教科書・副教材を中心に、基本的な知識・技能を身につける。さらに地図や資料の読み取りと分析や活用・ペア、グループ活動などをとおして、思考・判断・表現や主体的に学習に取り組む態度を養う。		

評価の観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解している。 ○地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	○地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。 ○考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。	○知識及び技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また、粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。 ○地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

評価方法		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①定期考査 ②授業中の取り組み	①定期考査 ②提出課題 ③授業中の取り組み	①提出課題 ②授業中の取り組み

各学期及び学年の成績算出方法について
観点別評価 ①　知識・技能　４０％ ②　思考・判断・技能　４０％ ③　主体的に学習に取り組む態度　２０％

学期	学習内容	評価規準（到達目標Ｂ規準）と到達度チェック（自己評価）			評価方法
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
1学期	第１編　地図や地理情報システムでとらえる現代世界 第１章　私たちが暮らす世界	□　世界地図や地球儀、日本の位置や領域について理解する。	□　地球上の位置に関する事柄について、多面的・多角的に考察する。	□　地球上の位置に関する事柄に対する関心と課題意識を高める。	知① 思① 主① など
	第２章　地図や地理情報システムの役割	□　地図についての基本的な事柄を解し、その知識を身に付けている。 □　地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。	□　さまざまな地図について、縮尺・媒体・用途などに着目し、適切に整理している。 □　さまざまな統計数値を、適切な主題図で表現している。 □　GIS を操作し、計測結果や主題図を表示している。	□　紙の地図や GIS に対する関心を高め、閲覧や作業を通して、それらの特徴をとらえようとしている。	知① 思① 主① など
	第３章　資料から読み取る現代世界	□　交通・通信技術の発展と国境をこえたさまざまな結び付きについて基本的な事柄と追究の方法を理解しその知識を身に付けている。 □　交通・通信手段や貿易構造の変化、世界の国家群の特徴について地図や図表の読み取りを通じて理解を深めている。 □　交通・通信の利用・整備の状況や国境をこえた人・モノ・情報の移動、世界の国家群などについて、地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	□　交通･情報通信が国境をこえて結び付き､その結び付きがますます強固になっていることについて地域性や日常生活との関連をふまえて多面的･多角的に考察しその過程や結果を適切に表現している。 □　貿易や観光などにみられる国境をこえたモノや人の動きについて､地域性や日常生活との関連をふまえて多面的･多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 □　グローバル化の加速によって形成された地域経済圏や国家群につい	□　交通・通信の発達による社会の変化と、それとともに起こるようになった諸問題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。 □　グローバル化の進む現代世界において、政治的・経済的な国家間の結び付きが強まっていることに対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	知① 思① 主① など

			て、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。		
2学期	第２編　国際理解と国際協力 第１章　人々の生活文化と多様な地理的環境 １節　生活文化の多様性と国際理解 人々の生活文化と多様な地理的環境 1節「生活文化の多様性と国際理解」 2節「生活文化と自然環境①地形」 3節「生活文化と自然環境②気候」 4節「生活文化と産業」	□　世界にみられる多様な文化について、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。 □　さまざまな産業とそれらの分布について基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。 □　地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	□　文化の違いがなぜ生じるかということについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 □　世界各地で多様な地形や気候・植生がみられることについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 □　さまざまな産業の特徴や産業立地、それらの変化について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 □　地域の文化や人々の暮らし、産業の違いを、それぞれの地域の自然環境との関連に着目しながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	□　文化の多様性と異なる文化の理解や共存に関して関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。 □　さまざまな自然環境に対応した人々の生活や産業の工夫について関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。 □　技術の発展やグローバル化などによってどのように産業が発展・変容してきたかについて、関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	知① 思① 思② 主① など
	第２章　さまざまな地球的課題と国際協力 1節「地球環境問題」 2節「資源・エネルギー問題」 3節「人口問題」 4節「食料問題」	□　さまざまな要因がからむ地球的な課題についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 □　地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。	□　地球的な課題について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	□　各国の社会状況にあった具体的な解決が求められる地球的な課題に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	知① 思① 思② 主① など

	5節「居住・都市問題」 6節「民族問題」 7節「持続可能な社会の実現をめざして」				
3学期	第3編　持続可能な地域づくりと私たち 第1章　自然環境と防災 1節「日本の自然環境の特色」 2節「さまざまな自然災害と防災」	□　変化に富んだ日本列島の自然環境、大きな被害をもたらす自然災害について、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。 □　多発している日本列島の自然災害とその克服について、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。 □　地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	□　日本列島の地形や気候と自然災害について、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 □　日本列島のさまざまな自然災害と防災対策について、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	□　日本列島の豊かな自然環境と近年増大している自然災害に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。 □　深刻な日本列島の自然災害と防災に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	知① 思① 思② 主① など
	第2章　生活圏の調査と地域の展望	□　地域調査の手順や注意すべきことを理解している。 □　地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。	□　身近な地域の特徴を、設定したテーマに沿ってとらえ、明らかになったことを適切に表現している。	□　身近な地域の特徴を明らかにするために、意欲的に地域調査に取り組もうとしている。	知① 思① 思② 主① など